

岡本 知高

Concerto del
Sopranista
2010-2011

その声は、
聴くものすべてを美しく揺さぶる
ソプラニスタ、奇跡の歌声……。

2010年12月25日(土) 紀尾井ホール(東京)

open 13:30 / start 14:00 主催：Samon Promotion, Inc.

入場料：S席¥5,500 / A席¥4,500 (全席指定・税込) ※未就学児のご入場はご遠慮願います。 一般発売日：2010年5月22日(土)

チケット
取り扱い

- サモンプロモーション：0120-499-699 (10:00~18:00) <http://www.samonpromotion.com>
- 紀尾井ホールチケットセンター：03-3237-0061 ● チケットぴあ：0570-02-9999 (自動音声) <http://t.pia.jp/> [Pコード：106-231]
- e+ (イープラス)：<http://eplus.jp/> (パソコン・携帯) ● ローソンチケット：0570-000-407 (オペレーター対応) <http://l-tike.com/> [Lコード：36914]
- CNプレイガイド：0570-08-9990 (オペレーター対応) <http://www.cnplayguide.com/> ● 楽天チケット：<http://ticket.rakuten.co.jp/> (パソコン・携帯)
- JTBエンタメチケット：0570-030311 (10:00~18:00) <http://www.jtb.co.jp/ticket/> ※JTB支店・JTBトラベランド店舗・JTB総合提携店

◆ご予約・お問い合わせ：サモンプロモーション ☎ 0120-499-699 (10:00~18:00) www.samonpromotion.com

企画・制作：Samon Promotion, Inc. 協力：UNIVERSAL

サモンプロモーション会員登録受付中! オンラインでのチケット購入がさらにわかりやすく便利に! ※入会、年会費は無料です。

- ◎どこよりも早い先行予約受付のご案内 ◎携帯でのチケット予約・購入 ◎座席指定(PCのみ) ※先行予約受付分や、公演によっては選べない場合もございます。
- ◎多種多様なお支払方法(カード決済、コンビニ決済、ペイジー対応ATM、ネットバンキング) ◎各種キャンペーン、新規公演、アーティスト情報をメルマガ配信
- ◎受取方法の選択(セブンイレブン発券、ファミリーマート発券、ヤマト運輸セキュリティパッケージ<配送>) 他特典多数!

新会員登録受付はこちらから!
(PC・携帯共通)
サモンプロモーション
www.samonpromotion.com



サモンプロモーションのホームページから
ご予約頂きますと、お座席をご指定頂けます!!

Samon Promotion, Inc.

岡本知高

Concerto del Sopraniista
2010-2011

「奇跡の歌声」——ソプラニスタ岡本知高
クラシックから日本の名曲までを披露!!

◇出演

ソプラニスタ 岡本知高 ◆ ピアノ 榎本潤 ◆ 音楽案内人

Program

- 誰も寝てはならぬ
(オペラ「トゥーランドット」より/ブッチェリ)
- 神よ、平和を与えたまえ
(オペラ「運命の力」より/ヴェルディ)
- アヴェ・マリア (カッチーニ)
- 道標 (福山雅治)
- 日本の唱歌の数々
- 他、クリスマス曲等 多数披露予定

※やむを得ず曲目が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。

Sopranista Profile

1976年生まれ。高知県宿毛市出身。
男性でありながら女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手【ソプラニスタ】。
多くのソプラニスタやカウンターテノールがファルセット(男性裏声)を用いて技巧的に発声するのに対し、岡本の場合は、男性としての強い筋力と豊かな肺活量を、生まれながらのソプラノヴォイスを通して発揮できるという、世界的にも大変希有な「天性の男性ソプラノ歌手」である。テノールやバリトンといった一般男性の声は合わせ持っておらず、発声のメカニズムとしては完全に女性ソプラノと同様と考えて良いため、「コントラバスにヴァイオリンの弦が張られている」などと本人は愉快的表現で説明している。

そのレパートリーは、バロック時代のカストラート作品から宗教曲、オペラ、日本歌曲、クラシカル・クロスオーバー、ミュージカル、ポップスと多岐にわたり、国内主要オーケストラや様々なアーティストとの共演の他、モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、イギリス室内管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ室内管弦楽団といった海外オーケストラからの呼び声も高く、国内各地でのピアノ伴奏によるソロコンサートとあわせて、唯一無二の奇跡の歌声を轟かせている。

またその一方で、ライフワークとして取り組んでいる学校訪問コンサートや、各地の学生らとのステージ共演に力を注ぐなど、音楽教師を目指していたという岡本らしい子供達とのふれあい活動も全国展開している。その背景にあるのは、「地元宿毛市の豊かな自然の中で天真爛漫に育った幼少時代と、6歳のときに足の病気を患い、親元を離れ養護施設で過ごした4年間の貴重な経験が、現在の岡本知高の礎である」と本人も語っている。

1998年ベートーヴェン作曲「第九」日本初演80周年記念再現リサイタルにソプラノリストとして抜擢を受けてデビューし、1999年国立音楽大学声楽科を卒業。この頃には既に独特のコスチューム(衣装デザイナー有松陽子氏による作品)をまとっていた。数々のコンクールで優勝・入賞を果たし、パリ・ブランク音楽院に留学。審査員満場一致の一位を獲得、首席で修了。2002年帰国後、NHK「スタジオパークからこんにちは」「ラジオ深夜便」、TX系「たけしの誰でもピカソ」などへの出演を機に、EX系「題名のない音楽会21」「徹子の部屋」、TBS系「うたばん」「学校へ行こう!MAX」、CX系「めざましテレビ」「新堂本兄弟」「MUSIC FAIR21」などに出演。その歌声はもちろん、独特のコスチュームと楽しいキャラクターで、一躍その名は全国的に知られることとなった。

2003年ユニバーサルミュージックより初アルバム「ソプラニスタ」でCDデビューを果たし、これまでにカネボウ、グリコ、東レなどのテレビコマーシャルでも印象的な歌声を聴かせている。2004年には人気を集めた昼ドラマ「牡丹と薔薇」(THK・CX系)で主題歌「涙のアリア」を担当。「第71回日本ダービー」にて「君が代」独唱。2005年NHK「みんなのうた」でホッチカズヒロ氏のアニメーションと共に「空へ」が放送。「愛・地球博(愛知万博)」ではフレンドシップソング「この星の安らぎを」を担当。2006年よりCX系フィギュアスケート番組のオープニングソング「ボレロ」を担当。「メダリスト・オン・アイス」では生オーケストラの演奏と共に、荒川静香氏をはじめとするトップスケーター達と共演。「世界フィギュアスケート選手権大会2007東京」では開会式において「君が代」独唱も務めた。これまでに神崎克彦、瀬川武、宇田川貞夫、A.ババジャクの各氏に師事。

◇岡本知高 オフィシャルサイト <http://www.sopranista-okamoto.com>

衣装：有松陽子 ◆ 写真：山本侑子 ◆ ヘア&メイク：Kinta



榎本潤 Jun ENOMOTO [ピアノ]

国立音楽大学ピアノ専攻科を経て、同大学院を修了。ダン・タイソン、柳川守、小林道夫の各氏に師事。1991年、第7回ピアノオーディション全国大会にて入賞。1996年、第34回北九州芸術祭にて最優秀伴奏賞及び全日空賞を受賞。これまでに、NHK交響楽団や東京フィルハーモニー交響楽団など都内主要オーケストラの各コンサートマスターと室内楽奏者として共演。また、古澤巖、大谷康子、川井郁子(以上ヴァイオリン)、浜中浩一、赤坂達三(以上クラリネット)、林康子(ソプラノ)、錦織健(テノール)、岡本知高(ソプラニスタ)、東儀秀樹(雅楽)の各氏ら著名アーティストと全国各地で共演を重ねている。海外からの来日アーティストとの共演も多く、世界的ヴァイオリニストのソネンバーク、ズカーマン、アナスタシアの各氏をはじめ、ウィーン・フィルの首席コンサートマスターであるキュッヒル氏率いるアンサンブルとも共演している。2006年には「ザルツブルク室内管弦楽団」とモーツァルトのピアノ協奏曲を共演。チェンバロ奏者としては、ソロ・リサイタルのほか、東京ソリストのヨーロッパ公演(フランス・ポーランド)やN響定期に出演。また「新イタリア合奏団」などの来日公演にチェンバロ協奏曲のソリストとして出演し、「音楽の友」誌にて「充実した気概と堅実な技術に裏付けられた快演」と絶賛を浴びている。その他、指揮、レコーディング、演奏会のプロデュース、後進の指導など、幅広い分野で活動を展開。CDは、岡本知高氏のアルバム制作に数多く参加。また、大谷康子氏との共演では「鳥のシシリアーナ」などがリリースされている。これまでに編曲・作曲作品も数多くあり、全音楽譜出版社からは、中高校生向きにオリジナル合唱曲「じぶんいろ」と合唱アレンジ作品「旅立ちの日に」が、カワイ出版からは合唱アレンジ作品「千の風になって」の楽譜がそれぞれ合唱ピースとして発売され、注目されている。現在、国立音楽大学講師。

榎本潤 オフィシャル・サイト <http://www.c-horizon.com>

Discography

発売・販売

ユニバーサル ミュージック合同会社



デビュー・アルバム
【ソプラニスタ】



ライブCD・映像
【ソプラニスタ・コンサート】



セカンド・アルバム
【ラ・ヴェージュ】



サード・アルバム
【旅立ちの日に】



ベスト・アルバム
【ソプラニスタ・ザ・ベスト】



フォーエース・アルバム
【ジバンギー心に響く、日本のうた-】

◇ユニバーサルミュージック 岡本知高サイト http://www.universal-music.co.jp/classics/j_classic/tomotaka_okamoto/index.html